

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
鍼灸科											
鍼灸理論 4											
対象	3年次	開講期	前期	区分	必	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	森田義之			実務 経験	有	職種	鍼灸師				
授業概要											
<p>鍼灸施術における治効理論や関連学説について学ぶ。鍼灸治療は古来より多くの方法が存在する。その中でも、現在臨床の現場で使われている方法、効果があると考えられている方法論を学ぶことで、鍼灸師としての多様性を獲得することが目的である。また、その治効理論を理解することでより安全性を確保することが目的である。</p>											
到達目標											
<p>トリガーポイント鍼療法の概念・知識を提供、鍼灸臨床で使えるように理解をさせる。多くの治療法の中でもトリガーポイント療法は効果が実感できる方法として評価が高い。また、科学的な解釈も多く加えられており患者に対する説明も容易である。医師との共通言語としても使える内容ということもあり、理解しておくとして有用である。</p>											
授業方法											
<p>トリガーポイント療法で治療ができるような方法を教授する。まずは「トリガーポイント」とはどのようなものかという基礎的な理解から始まり、実際にはどのような理論で治療体系が構成されていくのかを学ぶ。また、できるだけ具体的に方法論を教授し、実際に使える知識として教授を行う。</p>											
成績評価方法											
<p>期末試験（筆記試験）。</p>											
履修上の注意											
<p>授業日数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。講義時間に無連絡で20分以上遅れた場合、受講はできるが出席の扱いをしない。明確な理由が無い早退は出席したとは認めない場合がある。課題は、本科の規則に従った形式で提出する。特定の指示が有る場合を除いて、手書きでの作成を原則とする。</p>											
教科書教材											
配布資料											
回数	授業計画										
第1回	トリガーポイント鍼療法の概念①										
第2回	トリガーポイント鍼療法の概念②										
第3回	部位別のトリガーポイント鍼療法1										

## 鍼灸理論 4

第4回	部位別のトリガーポイント鍼療法2
第5回	部位別のトリガーポイント鍼療法3
第6回	部位別のトリガーポイント鍼療法4
第7回	部位別のトリガーポイント鍼療法5
第8回	部位別のトリガーポイント鍼療法6
第9回	部位別のトリガーポイント鍼療法7
第10回	部位別のトリガーポイント鍼療法8
第11回	部位別のトリガーポイント鍼療法9
第12回	部位別のトリガーポイント鍼療法10
第13回	部位別のトリガーポイント鍼療法11
第14回	トリガーポイント鍼療法の応用1
第15回	トリガーポイント鍼療法の応用2